

単
元
名

～教材文「くちばし」～

くちばしクイズをつくろう

教科書出版社名（ 光村図書 ）

○ 小学校（1）年 教科等（国語）

○ 「自ら学ぶ子どもの育成」に向けて、この単元で付けたい力

（教科等で付けたい力）

写真や絵を手がかりにして、本文に書かれていることの大体を読み、自分の分かったことを紹介することができる。

（学校図書館等の活用で付けたい力）

自分のめあてに沿って本から調べることができる。

○ この単元における学校図書館を活用した情報活用能力の育成に向けて

- 情報収集…教材文や調べた本、図鑑を使って、様々な鳥の特徴を話し合うことで必要な情報を集める。
- 整理・分析…くちばしクイズに取り上げる鳥を選び、その特徴を付箋に書き出し、整理する。
- まとめ・表現・発信…くちばしクイズ大会を行い、これまでの学習を振り返る。

○ 学習の展開（全9時間）（学校図書館等を活用した時間は☆印）

第1次	・教材文「くちばし」を読み、様々な鳥の特徴を話し合うことで、くちばしクイズ作りの見通しをもつ。 ・「なんのくちばし？」の読み聞かせを聞き、「くちばしの使い方」と「えさ」に視点をおいた「とりのくちばしクイズ」を出し、どのような鳥か想像する。
第2次 ☆	・「くちばしの使い方」と「えさ」を確かめ、目的をもって教材文から読み取る。 ・文章や挿絵を基に、きつつき、おうむ、はちどりについて読み取る。 ・好きな鳥を選び、「くちばしの使い方」と「えさ」について調べる。（本時） ・基本文型に合わせて「くちばしの使い方」と「えさ」の説明を書く。 ・モデル文を参考にしながら、選んだ鳥のくちばしクイズを作る。
第3次	・学級でクイズ大会を行い、これまでの学習を振り返る。

(本時 5 / 9 時)

☆学校図書館等活用 (本時) の学習

本時のねらい
好きな鳥の「くちばしの使い方」と「えさ」を調べる

【参考文献】「なんのくちばし？」(ポプラ社) 監修 今泉 忠明

学習展開

時間 (分)	主な学習活動	指導上の留意点
5	1. 前時をふり返る。	・本の挿絵や写真を文章に結び付けて読み取ることができるようクイズなどで前時をふり返る。
5	2. 本時のめあてを確認する。 すきなとりのくちばしについてしらべよう	
30	3. すきなとりの「くちばしのつかいかた」と「えさ」について、本を使って調べる。 ・見つけた好きな鳥のくちばしの絵や文に付箋をつける。 ・付箋をつけた絵や文から、自分がクイズにしたい情報を選ぶ。	・児童の実態に合わせて、鳥の図鑑だけでなく、鳥についての易しい内容の絵本から情報を得られるようにする。
5	4. ふり返りをする。	

図書館活用
ポイント

